

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和元年6月23日現在

機関番号：32634

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K03941

研究課題名(和文)流通業・サービス業における家族による事業承継前後の課題解明

研究課題名(英文)Elucidation of problems before and after business succession by family in distribution and service industries

研究代表者

石川 和男 (Ishikawa, Kazuo)

専修大学・商学部・教授

研究者番号：60300034

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、流通業とサービス業における事業承継前後のさまざまな課題を明確にすることを目的とした。これらの業種は、消費者の生活にとって、非常に身近なものである。これらには大規模企業も存在するが、多くは中小企業や零細事業者がその中心である。したがって、これらの事業者が廃業することは、地域の消費生活を維持する上でも大きな影響を与える。大企業の場合、後継者は存在するため、中小規模や零細事業者の事業承継前後の課題を中心に取上げた。そこでは特に事業承継を支援する公的機関の対応や政策対象である中小零細企業とのミスマッチが明らかになった。また、現経営者と後継候補者との意識の違いが大きいことを明確にした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

事業承継は大きな課題とならなかったが、起業数よりも廃業数が上回る状態が継続している。また事業承継を個別企業課題とし、公的政策対象とすることを回避してきた経緯がある。一方で、企業が存続しなければ、日常生活への影響を被る消費者の存在がクローズアップされるようになった。流通業やサービス業は、消費生活の中では重要な位置を占めている。そこでこれらの業種を中心に当該地域で事業が継続できなくなった場合の影響、事業承継が順調に進まなくなった背景を関係諸機関や当該企業から聞き取り調査をし明確にした。製造業では事業承継課題や事業承継政策が展開されているが、流通業とサービス業を中心に取上げたところに意義がある。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to clarify various issues before and after business succession in the distribution and service industry. These industries are very familiar to consumers' lives. There are also large-scale companies, but most of them are medium and small businesses. Therefore, having these businesses go out of business has major impacts on maintaining the local consumer life. In the case of large companies, since there are successors, this study focused on issues before and after the business succession of small and medium-sized businesses and small businesses. In particular, the response from the public organizations that support business succession and the mismatches with the medium and small and medium enterprises that became the policy targets became clear. In addition, this study clarified that the difference in awareness between current managers and successor candidates is so large.

研究分野：商学

キーワード：事業承継 後継者問題 親族承継 第三者承継 知識移転 技術移転

様式 C-19、F-19-1、Z-19、CK-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

わが国では、1980年代半ばから企業件数よりも廃業件数が上回る状態が継続している。経済における新陳代謝として、廃業・起業の繰り返しは、当然である。しかし、後継者が不在という理由により、廃業を選択しなければならない状況というのは、社会的な損失につながる。特にこれまで中小零細規模事業者の場合、親子または親族による事業承継が連綿として行われてきた面が強い。このような状態から近年では、子どもが親の仕事を継がず、別の道を選択する場合も増加した。それに少子化社会という現象が影響し、事業継続が困難になる状況が多く見られる。また流通業・サービス業は、事業の小規模性が特に強い事業である。そこでこれらの状況を踏まえ、流通業・サービス業において家族による事業承継前後の課題を明確にすることを考察することとした。

2. 研究の目的

大企業であれば、事業を承継する経営者、その候補は複数存在するが、事業規模が小さくなればなるほど、後継者不足に悩み、後継者が見つからず、廃業に至る事例が多く見られる。本研究では、中小・零細規模の事業者において、これまで家族による事業承継が順調に行われてきた背景、さらにはその支援体制を明確にすることにより、現在の事業承継を断念する場合を少しでも少なくしようとするところに貢献したいというのが研究の第1の目的であった。それは流通業・サービス業は、製造業以上に各地域に密接な事業であり、これらの事業が継続しなくなることは、当該経営者や従業員の生活面での不安が大きくなるだけでなく、これらの事業所が所在する地域の消費者の生活にも大きな影響を与える可能性があるためである。そこで、家族による事業承継のための条件や社会的背景、さらには後継者候補として育成する環境等についても明らかにすることを第2の研究目的とした。

3. 研究の方法

本研究の研究方法は、事業承継を考える時期にさしかかっている事業者から直接聞き取り調査をすることにより、事業承継にあたっての問題を多方面から聞き取り調査するという方法をとった。そこで得られた結果について、整理をし、流通業・サービス業を手がける事業者にアンケート調査を行い、事業承継前後における家族の問題について明確にしようとした。他方、事業承継を支援する各地に配置された事業引継ぎ支援センターに聞き取り調査を行い、各地域における事業承継の現状を第三者の視角により、明確にすることとした。したがって、研究方法として、実際に事業承継を終えた企業(事業所)、現在事業承継を行う必要がある企業、さらに事業承継を考えなければならない企業等に聞き取り調査をし、さらにこれら支援機関への聞き取り調査により課題をすることを行った。またこれらをデータで裏付けるという作業も実施した。

4. 研究成果

本研究の研究成果は、学会報告や論文などにより、公開をしてきた。特に流通業・サービス業における家族による事業承継前後の課題は、多方面にわたっていることが明確になった。いくつかが明確になった課題をあげると、事業を継続する上での事業の将来性の問題(現在の売上確保の見通しが立ちにくい)、雇用する従業員の問題(従業員の生活における責任)、家族の生活上の問題(一度他企業に勤務した後継候補者の生活が一変すること)、などが明確になった。これらは流通業・サービス業でなくとも、製造業などでもいわれていることが改めて確認された。ただ、これまで流通業やサービス業において培われてきた「知識」や「技術」の問題もクローズアップされることとなった。これは「小売業のノウハウ」「サービス業のノウハウ」といえるものであるが、製造業におけるノウハウとはやや異なっており、対顧客への接し方や個別対応などは、これらの業種の場合、なかなか承継がしにくいものとして明確になった。今後、これらの業種における承継すべきノウハウの研究という課題も明確になった。

5. 主な発表論文等

[雑誌論文](計 8件)

石川 和男「TDK株式会社と地域貢献マーケティング - 齋藤憲三と故郷との関わりを中心に - 」『専修大学社会科学研究所月報』専修大学社会科学研究所、No.667.668、2019、22-39頁(査読なし)

石川 和男「わが国のタオル生産と事業承継 - 大阪府泉佐野市を中心として」専修大学社会科学研究所『専修大学社会科学研究所月報』No.661.662、2018、94-111頁(査読なし)

石川 和男「事業承継政策の展開と後継者教育の方向性 - 中小企業・小規模事業者に対する「磨き上げ」を中心として」『商学論集』専修大学学会、第107号、2018、1-18頁(査読なし)

石川 和男「地域における中小事業者生き残りのための枠組み構築 - 親族承継を見据えた取り組み強化を中心に」『地域デザイン』地域デザイン学会、No.11、2018、155-174頁(査読あり)

石川 和男「大廃業時代の到来と政策的対応 - 第三者承継を中心に据えた政策展開における課題 - 」『商学研究所報』専修大学商学研究所、第49巻第5号、2018、1-29頁(査読なし)

石川 和男「事業承継支援と支援事業枠組み - 中小企業の事業承継に向けた政策転換期にお

ける模索 - 」専修大学商学研究所『専修ビジネスレビュー』Vol.12, No.1, 2017、11-22 頁(査読なし)

石川 和男「事業承継政策の展開と支援現場における課題」商学研究所『商学研究所報』第48巻第7号、2017、1-28 頁(査読なし)

石川 和男「地域文化の影響による事業承継の現状と課題」専修大学学会『商学論集』第104、2017、1-12 頁(査読なし)

〔学会発表〕(計 8 件)

石川 和男「事業承継における公的機関の支援と課題」2019、日本地域政策学会関東支部部会

石川 和男「コンテクスト転換による事業創造デザインの新機軸」2018、第13回地域デザイン学会関東・東海部会

石川 和男「中小企業・小規模事業者における後継者育成のための地域政策による支援」2018、日本地域政策学会第17回全国研究大会

石川 和男「事業承継支援機関による啓発と教育」2017、ファミリービジネス学会第10回全国大会

石川 和男「地方における中小事業者生き残りのためのデザイン戦略」2017、地域デザイン学会第6回全国大会

石川 和男「地域における血縁による事業承継促進政策」2017、日本地域政策学会第16回全国大会

石川 和男「事業引継ぎ支援センターの設置と地域での事業承継課題」2016、第7回事業承継学会全国大会

石川 和男「地域における事業承継政策の展開と慣習・文化との軋轢」2016、日本地域政策学会、第15回全国大会

〔図書〕(計 4 件)

「第11章 「工場跡トポス」と「大型店舗跡トポス」」一般社団法人地域デザイン学会監修、原田 保・山田 啓一・石川 和男編著『地域イノベーションのためのトポスデザイン』地域デザイン学会叢書6、学文社、2018、206-233 頁

『商業と流通(第4版)』石川 和男、中央経済社、2018、298 頁

「第19章 震災に備えるための産業維持策」石原 慎二・佐々木 茂・石川 和男・李 東勲編著『産業復興の経営学 - 大震災の経験を踏まえて - 』同友館、2017、292-303 頁

『新版 地域マーケティングの核心』同友館、佐々木 茂・石川 和男・石原 慎士編著、2016、8-24 頁、25-35 頁、171-182 頁、189-190 頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年:

国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年:

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名:

ローマ字氏名：

所属研究機関名：

部局名：

職名：

研究者番号（8桁）：

(2)研究協力者

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。